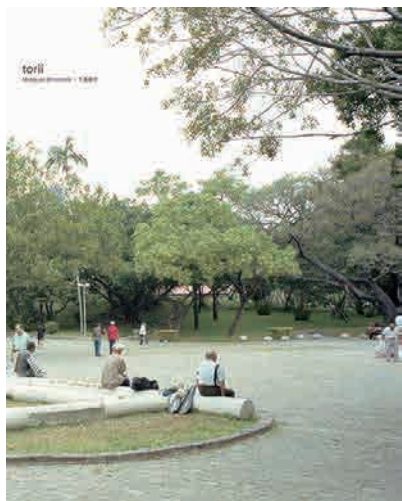


写真集 『torii』 下道基行



“日本の国境の外側に残された鳥居”を探すフィールドワーク
 当たり前のよう存在していた「境界線」を見つめ直す旅

台湾・サハリン・南洋・旧満州などに残された鳥居。ジャングルの中に佇むもの、幼稚園の門に転用されているもの、公園のベンチになっているもの…、それぞれ意味を変えながら残っていた。30箇所を紹介。後半は台湾での旅行記を掲載。

ISBN978-4-9907518-0-7 C0072

28cm×22.5cm74 ページ・ハードカバー

価格：3000 円＋税

写真 / 文章 / 編集：下道基行 装丁：橋詰宗 発行：ミチラボラトリー

発行日：2013 年 12 月 6 日 印刷・製本：株式会社山田写真製版所



「日本の国境の外側に残された鳥居」を撮影した下道基行の代表作のひとつ『torii』。前作の日本全国の戦争遺跡の現在をまとめた写真集「戦争のかたち」(リトルモア)から8年。その活動は多くの新聞にも取り上げられ、韓国光州ビエンレー2012での新人賞受賞や東京都現代美術館の展覧会などでも話題になった。未発表も含む30点の写真、他にも台湾日記や取材メモなどフィールドワークの記録も掲載。発行のミチラボラトリーは下道自らが立ち上げた出版レーベル。『torii』もこれまでほとんど書店様には流通しておりませんでした。戦後70年の年に是非。

■下道基行 プロフィール

1978年岡山県生まれ。2001年武蔵野美術大学造形学部油絵科卒業。2003年東京総合写真専門学校研究科中退。2005年日本全国に残る軍事遺構の現状を調査撮影した『戦争のかたち』をリトルモアより出版。その後、自らの祖父の遺した絵画を追って旅したシリーズ『日曜画家/Sunday Painter』を展示と手製本の写真集で発表。幼い頃、近所の崖に貝塚を掘り出したり古墳に関心を持ち、考古学者になることを憧れていた彼は、現在、写真や文章を表現手段に、モノ/コトの残り方/消え方、それらを内包する風景の在り方など、目の前に広がる風景に興味を持ち、旅やフィールドワークをベースに、表現を続けている。国内外の展覧会や出版などで活動している。

<http://m-shitamichi.com/>

▶ ご注文はツバメ出版流通まで FAX:03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com

TEL:03-6715-6121 <http://tsubamebook.com>

貴店名 (番線印) ご担当： 様	既刊 michi laboratory 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
	torii 下道基行 発行日：2013年12月6日 ISBN978-4-9907518-0-7 C0072 本体 3000円